

当団は2015年11月の荻窪音楽祭出演を機に設立、「音楽を軸とした地域コミュニティ」のビジョンの下、楽団に関わる全ての皆さまが楽しめるような「荻窪色」豊かな楽団を目指しています。

今回は稀代のメロディメーカーと言われる2人の作曲家を取り上げます。

まずドヴォルザークから2曲。序曲「わが家」は力強く幕開けに相応しい曲です。後半には現在のチェコ国歌に使われているメロディが現れ、作曲家の故郷への想いが伺えます。続いては、杉並区と友好提携関係にある日本フィルハーモニー交響楽団の若手チェロ奏者石崎美雨さんをソリストにお迎えして、チェロ協奏曲をお送りします。郷愁と魅力的な旋律に満ちた、古今東西の協奏曲の中でも指折りの名曲です。

メインはチャイコフスキーの自他ともに認める最高傑作、交響曲第6番「悲愴」です。この曲のもつ情熱、悲痛や苦悩、えも言われぬ美しさを如何に表現するか、当団の挑戦をお見守りください。

皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

荻窪祝祭管弦楽団
代表 小池 弘真



©小谷野菜月

後藤 悠仁
指揮

Yuji GOTO (Conductor)

北海道妹背牛町出身。東京芸術大学を経て、1986年同大学院を卒業。1985年6月、日本フィルハーモニー交響楽団に入団、2009年まで首席奏者を務める。1993年、京都・北海道にてリサイタルを開催、好評を得る。2001年オペラシティを皮切りに、トッパンホールを経て、2004年より王子ホールにて毎年リサイタルを開催。2015年4月、日本フィルハーモニー交響楽団の常務理事に就任するとともに、ソロ活動を本格的に開始。ヴィオラ奏者としてリサイタルやオーケストラとの共演、イリス弦楽四重奏団での室内楽等、各地で幅広い演奏活動を行っている。また、指揮者・トレーナーとしてもアマチュアオーケストラの指導など、精力的に活動している。ヴィオラを中塚良昭、故ウルリッヒ・コッホ、室内楽を故黒沼俊夫、原田幸一郎、故ゲルハルト・ボッセの各氏に師事、指揮を広上淳一氏に師事。現在、東京音楽大学指揮科特別アドバイザーも務める。荻窪祝祭管弦楽団音楽監督。

後藤 悠仁



©JPCO

石崎 美雨
チェロ独奏

Miu ISHIZAKI (Cello solo)

神奈川県出身。8才よりチェロを始める。第12回泉の森ジュニアチェロコンクール高校生以上の部銀賞。第68回全日本学生音楽コンクール東京大会本選 チェロ部門大学の部3位。第12回ピバホールチェロコンクール井上賞。東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京芸術大学音楽学部卒業時に同声会賞受賞。山崎伸子、中田有、増本麻理、中木健二の各氏に師事。現在はクラシック、ポップスなどをレパートリーとし、積極的に演奏活動を行っている。2018年より日本フィルハーモニー交響楽団チェロ奏者。タレイア・カルテットとして、ザルツブルク=モーツァルト国際室内楽コンクール2015 第3位、第4回宗次ホール弦楽四重奏コンクール第1位受賞。プロジェクトQ第15、16、17、19章に参加。公益財団法人松尾学術振興財団より第28、29、31回助成を受ける。サントリーホール室内楽アカデミー第5期フェロメンパー。NHK音楽番組「ららクラシック」に出演。室内楽を山崎伸子、磯村和英の各氏に師事。

美雨

Information

※各演奏会詳細につきましては、各演奏会2ヶ月前頃に荻窪祝祭管弦楽団ホームページで広報いたします。

Camerata OFO Concert 2024
(荻窪祝祭管弦楽団有志による室内楽コンサート)
2024年9月16日(月祝) 19:30開演予定
三鷹市芸術文化センター 風のホール

指揮・クラリネット独奏: 照沼夢輝
ヴァイオリン独奏: 宮武佑果

C. シュターミッツ: ヴァイオリンとクラリネットのための協奏曲 変ロ長調
W.A. モーツァルト: アダージョとフーガ ハ短調 K.546
交響曲第41番 ハ長調 K.551

第37回荻窪音楽祭 荻窪祝祭管弦楽団 第17回定期演奏会
2024年11月9日(土) 13:30開演予定
杉並公会堂 大ホール

指揮: 後藤悠仁
ピアノ独奏: 桑原志織

J. ブラームス: ピアノ協奏曲第2番 変ロ長調 op.83
大学祝典序曲 ハ短調 op.80
F. メンデルスゾーン: 交響曲第5番 二長調 op.107「宗教改革」

団員募集

荻窪祝祭管弦楽団では一緒に演奏する仲間を募集しています。詳しくは当団ホームページをご確認ください。ご応募お待ちしております。